

白山南部、大日岳の南西部、水後山の南に「フナサコ沢」は存在する。

学生時代のワンダーフォーゲル部（WV）時代に、桧（ヒノキ）峠北に位置する桧山荘（大阪の某大学WV専用の小屋）を利用して周辺の山スキーを実践してきたが、それらの青春時代の記憶に残る静かな山のイメージは今や大変化を起こした。30年前ウイングヒルズ白鳥（WHS）と言う大都会そのもののスキー場が出現し、朝から山小屋に音楽が流れてくると言う山小屋とは呼べない環境となってしまった。40年前、現在のWHSの東端コース、クルージングコースをシールで登り重たい悪雪に苦労しながら山スキーを練習したものであった。3月の暖かく気持ち良い雪面上で、周りの山々、野伏ヶ岳、願教寺山、薙刀山、毘沙門岳を見ながら、この山中に我身が存在する事に、至福の時間を感じたものであった。

今回、この2月の連休に学生WV部員が山小屋で、雪上訓練をするという事でOBとして参加しアドバイスをする事となり山スキーで参加をした。現役生はスノーシュー使用でわかんより浮力のあるものである。小屋の前から林道を歩き、標高1000m付近から北に針路をとる。この辺は手入れがよく入った杉林である。斜度も15から20度程度で立木がしっかりしており雪崩の心配もなく、快適な山スキーコースである。1202mの小ピークからはしばらくは尾根通しとなり、最後1391mのピークに出るには35度程度の急傾斜を越えて行く必要がある。この急斜面の南斜面が「フナサコ沢」である。今回は積雪が少ないので諦め、来年への課題となった。



桧 山 荘